学校番号	3010

令和5年度　工業（映像デザイン）　　科

教科	工業	科目	映像概論	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	CG&映像しくみ事典（CGWORLD）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

写真技術の知識技術を発展させ映像表現の基礎・基本となる技術を学びます。上記教材を活用して専門用語の意味を理解し、映像表現技術に必要な基礎知識と技術を習得し、映像デザイン表現の中で実践出来る能力を育ててもらいます。教室での講義を基本としますが、特別教室でビデオ鑑賞や提出課題のプレゼンテーションを行ってもらいます。

履修条件

なし

2　学習の到達目標

(1)光の役割と扱い方を理解し、目的に合った映像表現ができるよう光と物体の特性を理解するとともに、記録機材の特性についても理解をする。
(2)目的に合った映像表現ができるよう光のとらえ方、機材の正しい使い方、ストーリーの時間構成など基本的な表現技術を身に付け、効果的な提示方法について選択する判断力を養う。
(3)映像制作のワークフローや専門用語の意味を理解し、映像制作意欲の知識向上を図る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	光や色の物理特性を理解できているか。照明機材の基本構造を理解し、適切な色や光の捉え方ができる。 動画のしくみを理解できている。	照明技法や映像作品制作のワークフローを理解し、目的に合った制作工程を選択できるか、表現したいこと(思考)が映像デザイン作品として企画できる。	映像デザイン作品制作技術の習得をめざして、映像デザイン分野の視野を広げ、映像デザインの表現に発展に主体的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ライティング	・露出 ・色温度・演色性 ・ライティングの役割と歴史 ・光の使い方 ・光質 ・ライトポジション	a:ライティングの基本構造を理解し、その役割を把握できている。 b:ライティングの役割、メディアとしての重要性を認識している。 c:学習内容に関心を持ち、自ら意欲的・主体的に取り組む態度がある。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況
	動画のしくみ	・視覚の知識 ・絵が動いて見えるしくみ ・残像現象 ・スクリーンサイズ ・音響システム ・再生方式	a:動画のしくみを理解し、その役割を把握できている。 b: 映像表現の効果やメディアとしての重要性を認識している。 c:学習内容に関心を持ち、自ら意欲的・主体的に取り組む態度がある。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況
2	放送	・放送の役割と歴史 ・放送局網 ・放送のしくみ ・電波 ・デジタル放送	a:放送の役割や歴史を理解し、その役割を把握できている。 b:放送のしくみを理解し、適正な表現を選択できる。 c:学習内容に関心を持ち、自ら意欲的・主体的に取り組む態度がある。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況
	映像制作	・プリプロダクションの仕事 ・シナリオ絵コンテ ・プロダクションの仕事 ・ポストプロダクション ・名作映画 ・録音の仕組み	a:映像制作のワークフローを理解し、その役割を把握できている。 b:　映像表現の効果やメディアとしての重要性を認識している。 c:学習内容に関心を持ち、自ら意欲的・主体的に取り組む態度がある。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況
3	デジタル映像処理	・映像音声端子 ・アナログデジタル変換 ・ファイル形式 ・圧縮のしくみ ・動画ファイルコーデック ・暗号化	a:アナログとデジタルの違いを理解し、それぞれの役割を把握できている。 b:デジタルデータの記録状態を理解し、適正な画像処理方法を選択できる。 c:学習内容に関心を持ち、自ら意欲的・主体的に取り組む態度がある。	学習状況の観察 小テスト 定期考査	学習状況の観察 定期考査 レポートの取り組み状況	学習状況の観察 レポートの取り組み状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度